

2 年	通 年	基礎製図	履修形態	全員履修
			履修単位	2
		科目目標	教科書	7 実教工業307：製図
		製図の基礎的な知識と技術を習得する。	副教材等	基礎製図検定問題集
			履修条件	特になし
学習内容				
教科書を中心に製図の基礎的な学習をするとともに、課題の作成を通して作図の技術を習得する。 また、授業を通して課題の提出期限を厳守することや作図する態度も養う。				
評価方法		課題提出状況、考査、授業中の取組姿勢・態度から総合的に判断します。		
学習上の留意点		積み重ねが重要であり、遅刻・欠席をしないこと。製図用具は毎回持参すること。		

授業計画（学習内容・学習活動・ねらい及び評価のポイント）					
期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい・目標		
前期	4	製図の基礎	基礎製図検定問題集を中心に授業を進める。 用具の正しい使い方を身に付け、文字と線を正しくかけるようする。 基本的な図形の作図法を理解し、直線や曲線の正しいつなぎ方を習得する。 投影図や立体図の問題を多く取り入れ、理解を深める。 学習成果の確認として基礎製図検定を受験する。		
	5	製図用具とその使い方 図面に用いる文字と線 基礎的な図面のかき方			
	6	投影図のかき方 立体的な図示法			
	7	片側断面図 補助投影図			
	8	展開図			
	9	基礎製図検定練習問題			
後期	10	製作図	理論と実技を並行で実施する。 簡単な図形の作図を通し、正投影法の基本的な図示形式を理解し表現する。 また、能率的な製図を心掛け、きれいに迅速な作図法を習得する。 寸法や補助記号及び公差・表面性状について理解し、表現方法を習得する。		
	11	製作図のあらまし			
	12	基本的な図のかき方			
	1	ドラフターを使った作図			
	2	製図例の模写			
	3				
学習評価の観点別規準と評価方法					
評価の観点	関心・意欲・態度		思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価基準	製図に関する事象に関心をもち、意欲的に探求する態度を身につけようとする。		製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考え方を的確に表現できる。	製図に関する事象について理解し、読図・作図の技能を身につけている。	製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、身につけている。
評価方法	学習に必要なもの、検定問題集・製図用具などの準備状況の観察 学習状況の観察		学習状況の観察 検定問題集、及び製作図の提出の有無、及び内容 課題作品の内容 定期考査の結果	学習状況の観察 検定問題集、及び製作図の提出の有無、及び内容 課題作品の内容 定期考査の結果	学習状況の観察 ワークブックの内容 課題作品の内容 定期考査の結果
学習サポート					
基礎製図検定問題集を中心に、投影図・等角図など基礎的な製図の知識と技術を学び、作図の技術・知識の技術の習得を目標に行います。実技を伴う科目です。 指導に従い、期限内に問題集・課題・ノートなどの提出が必要です。 欠席による遅れ、製図用具の紛失による遅れは評価を下げる原因となります。					